

年度:2020年 LOM番号:032

【褒賞申請書】

事業名称	9月例会
カテゴリー	最優秀LOM地域社会向上プログラム部門

申請LOM	東北地区秋田ブロック秋田青年会議所
LOMの人数	81名
理事長名	三浦 圭介
担当者名	田口 裕也
担当者携帯番号	090-4078-6315 担当者Mail:akitahokenkikaku5520@gmail.com
事務局住所	秋田県秋田市山王2丁目1番54号 三交ビル3階
事務局TEL	018-824-7070 事務局FAX 018-824-7071

本事業の参加者	会員数	53名
	関係者数	1名
	一般参加者数	9名
事業実施に至る背景 400文字程度	<p>3月例会の実施から6月、7月、8月とOP委員会にて勉強会を継続して行うことで、9月例会へのつながりを持たせました。</p> <p>人口減少問題において、あきたで経済活動をする中小企業は、労働力不足や労働人口の高齢化、マーケットの縮小などこれから生き残っていくために多くの問題を抱えており、それらの問題に向き合って解決をしていかなければならないという背景のもと、さらに考えを深めていくことが必要となります。</p> <p>そこで、人口減少が特に著しいあきたにおいて、中小企業では労使ともに年代や性別を問わず人材に関わる問題を多く抱えているのが現状であり、人材に関わる問題について計画的に取り組んでいくことが必要となります。</p>	

事業目的 400文字程度	<p>事業目的について、3月例会の目的として掲げた、人口減少社会で生き残っていける企業経営の実現を目指すために、問題点に気づき、解決策についてのヒントを得ることにより、自ら実践するきっかけを与えるという目的を発展させることを目指しました。</p> <p>そこで、人口減少社会の中で、人材の確保から育成、定着といった問題について計画的な対策をすることにより、将来的に成長し生き残る企業経営を行い、皆が働きたいと思えるような魅力ある企業へ発展するための一助となることを目的としました。</p>
SDGsの該当項目	(SDGsの該当項目を記載)

事業概要 400文字程度	<p>3月例会ではパネルディスカッションを行い、講師の長谷川晃氏と3名のパネリストの皆様をお招きし、実施しました。</p> <p>人口減少社会に伴う企業の課題と地元企業がができること、人材育成サイクルと企業の成長について、身近な経験を聴くことでヒントをつかむきっかけとしました。</p> <p>OP委員会では自社が人口減少社会で生き残っていける魅力のある企業になっていくためにはどうすれば良いかを検討し、短中期的な事業計画にも表すことを実践し、より具体的に人口減少社会について考える場を設けました。</p> <p>そして9月例会では講師の長谷川氏による講演内でワークシートを用いることで、聴講者全員が参加できる形とし、講演に活気をもたらす工夫として、インタビュー方式で経営者側、労働者側の考えを聞き出すことで両者の考えの乖離を知り、そして魅力ある企業とはなにかを皆で考えました。</p>
開催期間・ タイムスケジュール	2019年9月18日(水)18:30~20:30
開催場所	にぎわい交流館AU 2F 展示ホール
事業区分	新規
公益・共益区分	公益事業
事業総予算・収支	予算計:195,000 支出計:191,782
協力団体	共催 なし

	協賛	なし
	後援	なし
	その他	なし
事業対象者	秋田県内の中小企業および一般	
行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度	<p>(事業調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業伍の活動について記入)</p> <p>講師の長谷川晃氏を3月例会、OP委員会、9月例会実施まで継続して講師としてお招きし、継続性をもたせた事業構築をすることで、委員会メンバーはもちろんのこと、会員や一般参加者の理解を深めていくことを目標にしました。</p> <p>また労使それぞれの立場からの考えをざっくばらんに引き出すことによって、それぞれの考えを理解し合い、人口減少社会で生き残っていける企業になるためのアクションプランを皆で考えることができました。</p>	
結果 (RESULT)	<p>(目的がどのくらい達成できたか、上記の結果の想定外の結果、結果の確認方法、検証結果を箇条書きで記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労使それぞれの立場からの様々な考えを引き出せたこと。 ・ワークシートを用いることで、講演に皆が参加している形を作れたこと。 ・実際にアクションプランの策定を実践してみた企業があったこと。 	
	(この事業が与えた地域社会への影響を記入)	
地域社会への影響 400文字程度	<p>労使それぞれの考えを開示することで、両者に存在する距離を縮めることのきっかけにし、人口減少社会の中で短中長期に人財について考えていくことの大切さに気付き、企業が行っていくべきことを考えていくきっかけとなり、各企業、各個人から地域社会まで将来的な影響があると思います。</p>	

<p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>メンバーに中小企業の経営や所属が多いLOMとして、あきたが抱える身近な問題点や具体的な解決策を模索していくきっかけとして、それぞれが持ち帰り、自社のことについて考えることにつながったことです。</p> <p>実際に考えて実践をしたメンバーもあり、良いきっかけになったと思います。</p>
<p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業が期待される長期的な影響を記入)</p> <p>事業構築当初からの目的であった短中長期のアクションプランの策定の実践による、目先の将来の短期的に効果が得られるだけでなく、中期的、長期的な将来を見据え、それぞれの視点から気づきを得て、効果を探っていくサイクルの重要性を共有できたと感じます。</p>
<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>例会開催後、ワークシートの提出をもってアンケートの回収を実施したところ、各社、各個人の人口減少社会に対する考えがわかり、その中ではポジティブな回答もあったことから、今後のあきたの企業が生き残って元気な企業になっていくための底力を感じました。</p> <p>また、実際にアクションプランの策定に取り組んだ、または取り組んでいる企業もあったことから、単年では成果が見えなくても、継続して取り組み、将来的な成果に結びついていくのだと感じます。</p>
<p>改善点</p>	<p>(改善点があれば記入)</p> <p>広報期間や方法をもっと工夫することによって、より多くの企業を活動に巻き込み、参加者を集められれば良かったかと思います。</p>
<p>JCI活動計画の推進</p> <p>JCI VISION活動計画の推進</p> <p>JCI MISSION活動計画の推進</p>	<p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p> <p>特になし</p>
<p>添付資料</p> <p>PDF資料2MB、5ページ以内</p>	<p>(事業風景写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p>

(AWARDS TOHOKU 2020 申請概要)

人口減少社会検討委員会 委員長 石黒 尚哉

「人口減少社会に立ち向かう～企業の成長のためのアクションプラン～」

<9月例会>

公益社団法人秋田青年会議所は2019年9月18日水曜日に「9月例会」を<にぎわい交流館AU>にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この<9月例会>は<人口減少社会において生き残り、成長し、皆が働きたいと思える企業になること>を目的として開催されました。<短中長期的アクションプランの策定の実践>という結果、目的を達成する事ができました。



<p><u>9月例会とは？</u></p>	<p>写真1</p> 
<p>詳細な事業内容</p> <p>期日:2019年9月18日</p> <p>会場:にぎわい交流館AU</p> <p>(事業内内容)</p> <p>人口減少社会に伴う企業の課題と地元企業ができること、人材育成サイクルと企業の成長について、身近な経験を聴くことでヒントをつかみ、人口減少社会で生き残っていく魅力のある企業になっていくためにはどうすれば良いかを検討し、短中期的な事業計画にも表すことを実践しました。</p> <p>講演内でワークシートを用いることで、聴講者全員が参加できる形とし、講演に活気をもたらす工夫として、インタビュー方式で経営者側、労働者側の考えを聞き出すことで両者の考えの乖離を知り、そして魅力ある企業とはなにかを皆で考えました。</p>	<p>写真2</p> 

写真 3





